



皆さんこんにちは！2021年度は新しい3名の助産師職能委員会のメンバーさんが加わり8名で頑張っております。皆さんお元気ですか？新型コロナ感染症もやっと、新規感染者数も減り、経済活動にも良い影響が期待されています。しかし、まだまだマスク生活等の、感染対策は続きます。そして、医療現場では、集団指導や、面会、立ち合い分娩等の制約があるのが現状です。個々の妊産婦・家族への心のケアが充分出来ているのか不安ですね。助産師の皆さんの力を借りて、沢山の妊産婦・家族に温かいケアを届けていきましょう。

2021年度の活動方針

活動目標 1

「母子のための地域包括ケア病棟」普及・推進にむけた課題発見・意見集約

活動目標 2

医療機関に勤務する助産師が地域で活動するために必要な体制整備に向けた課題発見・意見集約



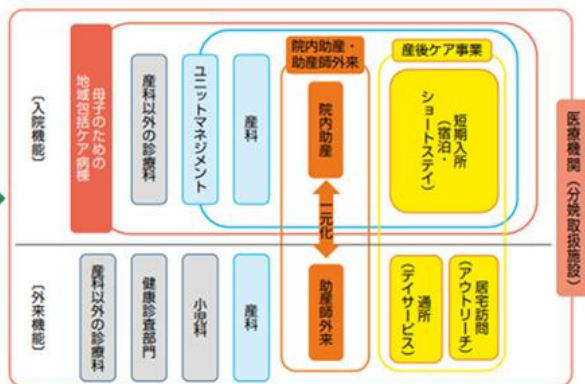
日本看護協会
井本常任理事より

「助産師には、すべての妊産婦に“助産師によるケア”を届ける事が期待されています。



妊産婦は、妊娠期から子育て期にかけて、さまざまな不安や負担を抱えています。医療機能の集約化、産科関連病棟の混合化、新型コロナウイルス感染症流行の影響により、妊産婦はこれまで以上に孤立化しています。母子保健施策の後押しがある今こそ、すべての妊産婦へ“助産師のケア”を届ける必要があります。そのために、日本看護協会が2021年10月に「母子のための地域包括ケア病棟」推進に向けた手引きを発刊しました。

「母子のための地域包括ケア病棟」推進に向けた手引き



- ① 院内助産・助産師外来：院内助産・助産師外来を明示し、助産師が助産業務に専念することで、妊娠期から子育て期における切れ目のないケア・支援を提供する機能
- ② 産科関連病棟におけるユニットマネジメント：産科区域特定を行い、安全・安心な出産環境の整備を行うために、看護師と役割分担した上で、助産師が妊産婦に集中してケアを行う機能
- ③ 医療機関における産後ケア事業：助産師をはじめとする看護職が中心となり、母子に対して心身の安定を促進するとともに、母子の愛着形成を促し、健やかな育児ができるよう支援する機能
- ④ 地域連携：子育て世代包括支援センターなどとの必要な連絡調整、母子保健や福祉に関する事業と連携する機能

コロナ感染症対応の実際



緊急事態宣言は解除になりましたが、立ち会い分娩は実施していない病院が多いのが現状にあります。集団指導も少人数での開催かDVDによる個人での視聴が主な母親教室の開催です。妊婦同士のつながりの希薄化による孤独感、育児の相談相手が見つけれない課題があるため、父性の役割が注目されています。しかし、コロナ感染拡大防止のため、父親の面会制限がある中で、どのように父性を支えるかには工夫が必要です。この現状がいつまで続くかわからない中、これからも感染拡大予防をしながら母性、父性を支えるために限られた環境の中で、創意工夫をしながら、頑張っていきましょう。



助産師職能集会

日時:2022年1月29日(土) 13時受付開始 13時30分~16時30分

「びわこ セーフチャイルドバースネットワーク」について

滋賀県産婦人科学会委員長 野村 哲哉先生



出生率が日本でも上位を占めている滋賀県の妊婦・分娩・子育てについて「もう一人産みたくなるような地域作り」を琵琶湖を取り巻く分娩施設が精神科・小児科等と連携し、行政と共に目指す。

まずは、少ない産婦人科医師を4つの周産期母子医療センターに集中させ、周産期母子医療センターと地域の病院と身近な診療所で分娩を安全に行い助産師・保健師が中心となって、地域での子育て支援へと繋げていく。

周産期医療圏内の医療機関の役割分担を踏まえたネットワークの充実・強化による周産期医療を提供できる体制の整備



「みんな、どこの病院も、そこなりの院内助産院的なことをやってるのよお！」

院内助産が話題になった際の、ある職能委員の言葉です。

私たち助産師の多くが、院内助産イコール「開業助産師さんの病院版」との思いが強く、ハードルを上げすぎている気がしています。もちろん開業助産師さんの実績と自律と誇りを活用させていただきながらですが、でも「病産院なり」「各々の施設なり」のあり方・様式があるはずで、そしてその内容は、私たちの日常の実践から、そんなに乖離が大きい気がするので、日本看護協会からも“「母子のための地域包括ケア病棟」推進に向けた手引き”が10月に発信されました。「ハイリスク妊産婦が多い」「助産師が足りない」など施設ごとの特徴や課題もありますが、何か各々が次への一歩となることを、いっしょに考えられたらと思っています。産後ケア「しかり」です。助産師としての権限と責務のもと、妊産婦さんとお子さん、そしてその家族と滋賀県のこれからのために！



令和3年度助産師職能委員のメンバー

初田 聡美(副会長) 大津市民病院
溝口 浩子 済生会滋賀県病院
平本 留見 滋賀医科大学医学部付属病院
西村 里江 大津赤十字病院
押谷 優子 長浜赤十字病院
三田村 七福子 淡海医療センター
西川 みゆき 近江八幡市立総合医療センター
花原 恭子 聖泉大学